

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

R7.3ばれっと東大曲

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				・利用者が多い日は外遊びや半分に連れていくなど工夫が必要。
	②	職員の配置数は適切であるか				・支援員の体調不良が重なってしまうと、足りない日も出てくる。 ・当日欠勤があると不足気味。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか				・スロープあり、段差なし、トイレはトイレ介助がしやすいスペースを考え設計されている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				・全職員が目を通す時間がないのが残念日々の生活に反省を生かしていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				・ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				・研修は大変勉強になるが、どうしても休みの職員が出てしまう。年に1回くらいは全職員で参加できるような研修が組めると良いのかなと思う。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか				・行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか				・話の場を持ち、案を出して担当者を決めて考えている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				・人数の多い日はどうしても安全に配慮するだけの支援になってしまう。 平日の課題は決めていない、おやつ、宿題、外遊びなど大まかなものになっている。様々な遊び、友達や支援員とのかかわりは将来の自立に向けてとても大切な時間と考えている。自己選択ができる力を身につけていく場と考える。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか				・必ずではないが必要に応じて行っている。 ・できない日もあるが行うようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか				・その日の反省や報告は行っているが、休みの支援員には行きわたらないこともある為、ラインを活用全員で共有している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか				・振り返り改善をしている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか				・6か月ごとにモニタリングを行い判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				・児童発達支援管理責任者が参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか				・学校から出ている週間の予定表を確認をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・該当児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか				・しているが、移行先から求められることはない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				・事業所外での活動はあるが積極的に行うことは少ない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか				・送迎時やラインを活用して報告をしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				・契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか				・個々に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				・保護者会をした。保護者同士で話す場になった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				・対応している。情報に相違がないよう努めていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				・ぱれっと通信を発行したり公式LINEで情報をお伝えしたり、行事前のお知らせはラインで連絡をしている。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか				・契約時にお知らせをしているが、あることを知らないと言われたため、伝え方に工夫が必要。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか				・行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか				・研修を行っている。
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				・指示書は頂いていないが、アレルギーの有無を確認している。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				・ヒヤリハットを書くことがないよう支援をしているが、危険なことがあった時は作成し、共有している。